「広島ベトナム平和友好協会(HVPF)」第9回総会

(Hiroshima Vietnam Peace and Friendship Association)

広島 ＆ ベトナムの平和・友好

Higashihiroshima ＆ VietNam

hoa binh ・ tinh ban huu

2017年6月18日(日)「広島ベトナム平和友好協会(HVPF)」

◇「総会」次第 ◇　　１０：００～１２：００

１．開会あいさつ
２．会長あいさつ
３．来賓あいさつ
　＊藏田義雄（東広島市長）
　＊津森　毅（東広島市教育長）
　＊鈴木伊織（ドキュメンタリー映画監督）
４．総会議長選出
５．資格審査
　広島ベトナム平和友好協会「会則」第１４条２．「総会は、会員の過半数（委任状および代理人を含む）の出席により成立する。」
　◇会員　・個人会員：６５名　・法人会員：１３社　・計：７８名　◇過半数：４０名
　◇出席　・出席者数：　名　・委任状数：　名　・計：　名
６．議事
（１）２０１６年度活動報告および決算報告
（２）監査報告
（３）質疑
（４）２０１６年度活動報告および決算報告ならびに監査報告承認
（５）２０１７年度活動計画および予算案
（６）質疑
（７）２０１７年度活動計画および予算案承認
（８）役員選出、あいさつ
（９）その他
７．総会議長退任あいさつ

◇“ベトナムがく”しみん講座◇ １３：００～１５：３０

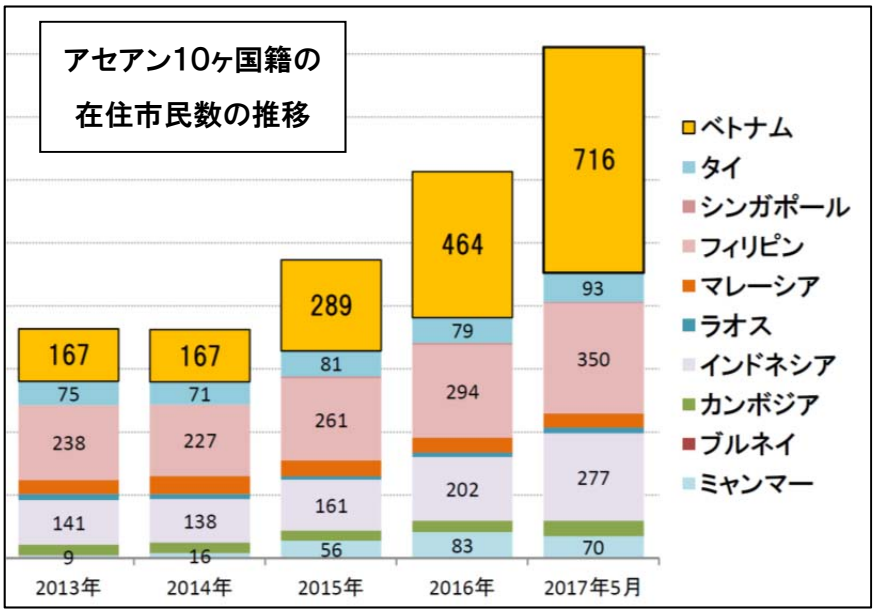
１．司会者
２．主催者あいさつ
３．第５８回科学技術映像祭（2017 年）受賞作「トアとトゥオン　ベトナム戦争の子どもたち」鑑賞
４．鈴木伊織監督トーク
５．質問＆デスカッション
６．閉会あいさつ

2016年度活動報告

1. はじめに

(1)国際色豊かなまち

①「国際学術研究都市」を標榜する東広島市の外国籍市民数が２０１４年以降増え続け、一昨年１０月、初めて5千人の大台に乗りました。その後も増え続け、本年5月末現在、５，９４４名と6千名台に迫っています。とくにベトナム国籍を持つ市民の増加が顕著で、２０１４年の１６７名から僅か3年で4．３倍の７１６名に増えています。今年5月末時点で８７カ国、５，９４４名（人口比 3.20%）の外国籍市民が暮らす東広島市は、多種多様な生活習慣・文化・言葉に触れる機会に恵まれた、文字通り「国際色豊かなまちです。



②そうした中、一層の「多文化共生のまちづくり」と「国際交流活動の推進」が課題になっています。とりわけフレンドリーでアットホームな手作り交流と「平和」や「いのち」、「教育」などに軸を置いた交流を進めているＨＶＰＦの役割が増しています。

(2)「運動と組織を継承し、新たなステップに臨む飛躍期」へ歩み始める

①昨年６月１９日に開催した「第８回総会」以降、「“ベトナムがく”しみん講座」（５講座）、教育支援プログラムに基づくクアンチ省少数民族寄宿高等学校への「奨学支援活動」、少数民族村への「医療器具支援活動」、「ベトナム平和友好訪問」は第１１次を数え、回を重ねてきた東広島市教育委員会・広島国際大学と連携した「ひと・まち発見講座」、９回を数える「テトを祝う会」などの諸活動を展開してきました。

②この一年間の特筆すべき第一は、２０１８年6月に迎える「ＨＶＰＦ設立１０周年」を「運動と組織を継承し、新たなステップに臨む飛躍期」のスタートとするとの「第８回総会」の確認に基づき、「ＨＶＰＦ設立１０周年記念運動プロジェクト」を起ち上げ、記念運動の企画、協会の組織基盤の強化と永続化のための組織改革の検討を進めてきたことです。本総会において、それらについてご確認いただき、「設立１０周年記念運動」と「組織改革」の取り組みを本格的に開始します。

③特筆すべき第二は、グエン・ドクさんを被爆地広島に初めてお迎えしたことです。一昨年の「被爆７０周年」「ベトナム解放４０周年」

という「歴史的節目の年」に、私たちは“戦争も核兵器も化学兵器もない、平和で豊かな世界を創造”するという思いを新たにしました。その、「歴史的節目の年」を経た初年度にグエン・ドクさんをお迎えし、「トーク＆コンサートｉｎ東広島」を開催したことの意義は大きいものがあります。

(3)「設立 10 周年記念運動」の具体化

今、「第９回総会」の課題は、前項に述べました状況のもと、「ＨＶＰＦ設立１０周年記念運動」の展開と、ＨＶＰＦの組織と活動を安定的に継続（永続化）するための「組織改革」に向けた取り組みを確認し合うことです。

2. 2016年度“ベトナムがく”しみん講座

―相互理解を深め、国際人を志す―

(1)「第1講座」(６月１９日)　「心かよう日越交流　過去・現在・未来」

２０１６年度講座の開講記念として、ベトナム大使館からグエン・チュオン・ソン公使を迎え、「心かよう日越交流　過去・現在・未来」と題して、目覚ましい発展を遂げるベトナムの状況、深まる日本との交流の現状と展望などお話しいただきました。

(2)「第2講座」(9月6日)「ベトナムってどんな国」

講師は広島大学平和科学研究センター助教の小倉亜紗美先生。平安時代に阿倍仲麻呂がチャンパ王国に漂着、ベトナムが元軍を破った「バクダン川の戦い」が３度目の元寇を防いだこと。戦時中、ベトナムに侵攻した日本軍の食糧徴発により２００万人とも言われる餓死者が出たことなど歴史的な関わりから、世界平和構築のためのＥＳＤ教育の重要性など学びました。

(3)「第3講座」(10月22日)「ドクさん来訪　トーク＆コンサートin東広島」

グエン・ドクさんを迎え「トーク＆コンサートｉｎ東広島」として開催しました。次項に詳細な報告を掲載します。

(4)「第4講座」(12月20日)「ベト味(ベトナム料理)講座」

今年もカンボジア・ベトナム料理専門店「アプサラス」店長の張富裕子さんに、カンボジア・カレー、ナンプラードレッシング・サラダ、ココナツ味デザートを教えていただき、美味しく賞味しました。大好評で「年４回開いて」とのリクエストから、受講生の皆さんによる世話人会を発足させ、２０１７年度は「ベト味教室」として年間４教室開きます。

(5)「第5講座」(2017年3月27日)「アセアン諸国事情と日本」

外国籍市民が増加する中でもベトナムをはじめアセアン諸国の増加が顕著なことから、２０１６年度の最終講座として、船本聰武・広島アセアン協会専務理事に「アセアン諸国事情と日本」と題してご講演いただきました。

「アセアンの国々のことをまったく知らず、とても新鮮でした」(67 歳・女性)、「一つの国では小さく弱いけれど、集まれば強く大きな存在になることを学ばせていただきました。１０ヶ国の国名も知りました」(66 歳女性)、「今までニュースなどでアセアンについて聞いても、よく分からないし、興味もあまりなかった。今回話しを聞いて、アセアンについて少し理解でき、ニュースも関心を持って聞けます」(66 歳・女性)、「アセアン協会の生い立ち、アセアン諸国の成長度合い、産地から消費地、日本が親しまれている理由など、とても勉強になった。アセアンの生活習慣などについて、また教えて欲しいです」(54 歳・男性) などの感想も寄せられ、「締め括り講座」として大変有意義な講座でした。

5講座中4講座と最多受講の用田さんに代表して「受講証」交付

3.「ドクさん来訪 トーク&コンサートin東広島」

(1)念願の招聘が叶い、被爆地広島を初訪問

①「ＨＶＰＦ設立」以前から続けている枯葉剤被害児救援活動を通して「ベトちゃん・ドクちゃん」と交流があったことから、念願の招聘に応えていただきました。ベトナム戦争被害の象徴

的存在である枯れ葉剤被害者のドクさんに、「ベトナム解放４０周年」、「被爆７０周年」という歴史的な節目を経、平和構築に向けた新たな歩みを刻み始めた今年、初めて被爆地ヒロシマを訪れていただいたことの意義は大きいものがあります。

②４５回目の訪日が被爆地広島であることから、グエン・ドクさんには大変喜んでいただき、大変ハードなスケジュールの中で精力的な見学や視察・表敬や記者会見・交流を通し、広島との絆を深めていただきました。

Nguyen Duc(グエン・ドク)さん来訪記

◆１０月１９日（水）
- ホーチミン発～関西空港～経由福岡空港
- 「枯葉剤被害児救援チャリティーコンサート福岡公演」で講演

◆１０月２０日（木）
- 平和公園「原爆死没者慰霊碑」献花
- 志賀賢治・平和記念資料館館長の案内で資料館見学、「芳名録」記帳
- 国際会議場会議室で記者会見
- 広島ベトナム平和友好協会役員（ＨＶＰＦ）と会食

◆１０月２１日（金）
- 藏田東広島市長「表敬訪問」
- 「酒都西条」の酒蔵見学、「お好み焼き」賞味
- 社会福祉法人　広島県リハビリテーション協会「ときわ台ホーム」訪問
- 「サイン会」の後、「トーク＆コンサートｉｎ東広島」

◆１０月２２日（土）
- 東広島市内でショッピングなど
- 新幹線および「はるか」にて泉佐野市、泊

◆１０月２３日（日）
- 関西国際空港発ベトナム航空ＶＮ３２０便（ホーチミン）にて帰国

(2)深い感銘を与えた「トーク＆コンサート」

①１０月２２日の「トーク＆コンサートｉｎ東広島」には、県内外から２５４名に来場いただきました。
戦争被害者として、障害を持つ者の一人として、多くの人々に支えられ過ごし、活動されてきたドクさんのトークは深い感銘と感動を残しました。
三度目の来訪のハイチュウ、心を打つ詩、染み入る旋律、素晴らしい歌声に、また新たなファンが生まれました。ＨＶＰＦのよき理解者でもあり、引き続き連携を深めたいと思います。

②老若男女、「感想文」につづられた感動と感銘
- 「枯葉剤について、現在でも苦しんでいる人がいることを知った。戦争は改めて恐ろしいものだと実感した。日本とベトナムが友好関係にある今はとても嬉しいと思う。」（女性 20 歳）
- 「ベトナム戦争のこと、どのような被害を受けて、今でも苦しんでいる人が多くいる現実を知ることができた。改めて戦争をこの世界から無くさなければと強く感じた。」（女性 36 歳）
- 「平和のためにできることが、一人ひとりにあるはず、きっと私にも。」（男性 36 歳）
- 「ドクさんに会えただけですごく感動。トークとソングには泣けました。そしてあらためて平和について考えました。ベトナムについても、もっと知りたいと思います。」（男性 45 歳）

・「ベトナム戦争は記憶のない世代です。歴史としては知っていましたが、枯葉剤の散布で多くの奇形児が生まれ、ナパーム弾で多くの死者が出たことに怒りを覚え、そんな犠牲者がこの先でないよう平和な世界がくることを願います。」（女性 47 歳）

・「ずいぶん前に購入した『ベトちゃんドクちゃんからの手紙』という絵本を、今でも大切に持っています。戦争がもたらす悲劇を忘れてはいけないという思いを持ち続けなければと強く意識しました。ドクさんの活動に心打たれました。」（女性 53 歳）
・「ドクさんの歌っている姿、映像の笑顔、ハイチュウさんとトークしているとき‥、ドクさんが障害者であるということを、まったく意識せず過ごさせていただきました。大変な困難を乗り越え、前向きに常に歩んでいるドクさんの人柄に、とても魅力を感じました。ドクさん、そのして、ドクさんの奥さん、双子のお子さんの笑顔が誰もが笑顔でいられる平和な世界への道標ように感じました。お身体を大切に頑張ってください。」（女性 63 歳）

・「数々の写真資料をもとにされた話しはよく分かりました。精力的に活動されている姿に感銘を受けました。ますますのご活躍をお祈りいたします。」（男性 64 歳）
・「苦しみ、悲しみを乗り越えて、美しい世界、平和な世界に少しでも近づけるための活動、本当に頭がさがります。私たち一人ひとりが、皆に伝えてゆきたいと思います。」（女性 73 歳）
・「ベトナム戦争の真実を知ることができた。戦争は一般人が被害を受けることを痛感した。平和への熱い思いが伝わった。ＣＤの歌がよかった。」（男性 83 歳）
・ハイチュウさんの歌、「とても素敵でした。ベトナムの音楽と日本の音楽は、なにかメロディというか‥‥共通する様なものを感じました。きれいな音楽と歌声でした！また聴きたいです。」（女性 35 歳）
・「平和が訪れた現在の美しいベトナムの自然が浮かんでくるような、心に染み入る歌声がとても素晴らしく、一度ベトナムを観光だけではなく訪れてみたい気持ちになった。」（男性 72 歳）
・「素晴らしい声で、「ふるさと」は情景が浮かびました。楽しい時間でした。」（女性 71 歳）

4. 第11次ベトナム平和友好訪問

（1）日　程　１０月２４日（月）～３０日（日）　※２３日（日）関空にて前泊（結団式）
（2）団　員　友保義正副会長（団長）、赤木達男専務理事、久保薫理事、山田学理事、赤木真理会員
（3）訪問先
①「世界遺産」ハロン湾
・１，６００もの島々が奇峰の如くそそり立つ神秘的な景観を満喫しながらジャンク船クルーズ。絶景と海産料理にハロン湾を満喫しました。是非、訪れてください。

②クアンチ省

◇クアンチ省人民委員会表敬訪問、各部局スタッフと協議

・クアンチ省人民委員会から広島県との交流関係の構築、医療・福祉分野での留学生の受入支援とサポートなどの要請を受けました。

◇少数民族寄宿高等学校「奨学金授与式」（次項に詳細報告）

・９月入学の「第８期奨学生」（１年生)、「第７期奨学生」（２年生)、「第６期奨学生」（３年生)、各２０名、計６０名一人ひとりに奨学支援金１２０ﾄﾞﾙを贈りました。

◇クアンチ古城「慰霊塔」献鶴、博物館見学

・ベトナム戦争が最も激しく戦われた旧南北国境のまちクアンチ。その中でもクアンチ古城は１９７２年6月２７日から9月１６日までの８１日間にわたる激戦が戦われ、約１万人の解放軍兵士と北ベトナム軍兵士が戦死したと伝えられています。米軍と旧南ベトナム軍が廃退した「クアンチ古城の戦い」は、３年後の１９７５年４月３０日の「サイゴン解放」につながった歴史的な戦いです。

・クアンチ古城はベトナム戦争勝利への端緒となった聖地であり、平和の礎を築いた平和を象徴する地です。グエン・フー・ビン元駐日ベトナム全権特命大使（現在、越日友好協会副会長）が広島ベトナム平和友好協会とクアンチ省との交流を提案してくださった所以も、クアンチ古城と広島の平和公園を重ねられたからだとお聞きしています。４年前の１万羽の「折り鶴」に続き、今回は３千羽を献げました。

③世界遺産のまち「古都フエ」

・グエン王宮、カイディン帝廟、戦争博物館などを見学。

④ホーチミン

◇ツーゾー病院訪問　ドクさんが働くツーゾー病院を訪問。
チュン副院長（前列右２番目）
ニーＤｒ（右端)、ドクさんにも会いました。

◇ホーチミン国家大学人文社会大学・日本語学部訪問

・ＨＶＰＦ設立に尽力していただいたフィン・トロン・ヒエンさん(中央)。広島大学で文学博士号を取得し、２０１４年に帰国。現在、日本学部副学長として活躍されています。

・日越学術交流、特に日本語の普及に努め留学生や技能実習生などを通した交流促進に尽力されています。

◇「国際株式会社ＣＯＣＯＲＯ（心）」訪問

・ヒエンさんの「心で教育」という教育哲学に基づく人材育成事業を中心に運営する「国際株式会社ＣＯＣＯＲＯ」を訪問し、ＨＶＰＦとの連携構築について協議しました。

⑤コンダオ島（「虎の檻」）

北ベトナム軍捕虜や解放戦線兵士を拷問したコンソン島の「虎の檻」を初めて見学しました。ベトナム戦争が終結し４１年。かつて「監獄島」と恐れられた島は、過酷な歴史を語り継ぎつつ、穏やかな南国の楽園を取り戻していました。（表紙の写真「釣り人」と「子ども」）

(4)この間のベトナム平和友好訪問の軌跡

	訪問年月	日数	団長	人数	主な訪問先	備考
第１次	2009年 4月	７日	井原　修	１６人	ハノイ、タイビン、フエ、クアンチ ホーチミン、タイニン	協会設立に向けた取り組みの一環として初めてクアンチへ代表団派遣。
第２次	2009年10月	６日	赤木達男	１人	ハノイ、フエ、クアンチ ダナン、ホイアン	第1回「奨学金授与式」出席、ラオス国境の少数民族村を訪問。
第３次	2010年10月	７日	赤木達男	６人	ハノイ、フエ、クアンチ、ホイアン ホーチミン、タイニン	「第２期奨学生」奨学金授与式 クチトンネル。
第４次	2011年11月	８日	赤木達男	５人	ハロン湾、フエ、クアンチ ハノイ、タイビン	初めて世界遺産「ハロン湾」訪れる タイビン枯れ葉剤被害児家庭訪問
第５次	2012年 4月	８日	赤木達男	７人	ハノイ、フエ、クアンチ ホーチミン	ベトナム中部解放40周記念式典に参列、中国新聞教連記者同行取材
第６次	2012年７月	６日	井原　修	２人	ハノイ、フエ、クアンチ	第３回アジア横断橋文化観光フェスティバルに出席（井原、高木県議）
第７次	2013年 3月	７日	赤木達男	２人	ハノイ、ディエンビエンフー ダナン、フエ、クアンチ	遅れていた「第4期奨学生」授与式 ディエンビンフーを初訪問
第８次	2013年10月	７日	井原　修	７人	ハノイ、フエ、ダナン、ホイアン、 クアンチ、ホーチミン	「第５期奨学生」授与式、 在ハノイ日本大使館表敬
第９次	2014年10月	４日	赤木達男	１人	クアンチ、ハノイ、ヴィンフック	「第６期奨学生」授与式、越日友好協会、ヴィンフック省人民委員会
第10次	2015年10月	８日	井原　修	６人 （２）	ハノイ、クアンチ、ダナン、ホイアン、 ホーチミン、ミトー	「第７期奨学生」授与式、越日友好協会、ダナン市、日本総領事館
第11次	2016年10月	８日	友保義正	５人	ハロン湾、クアンチ、フエ、ホーチミン コンダオ島	「第８期奨学生」授与式、ツーヅー病院、ホーチミン国家大学、COCORO

３. 教育支援プログラム「高校生奨学金10US$」支援活動

(1)「第8期サポーター」登録

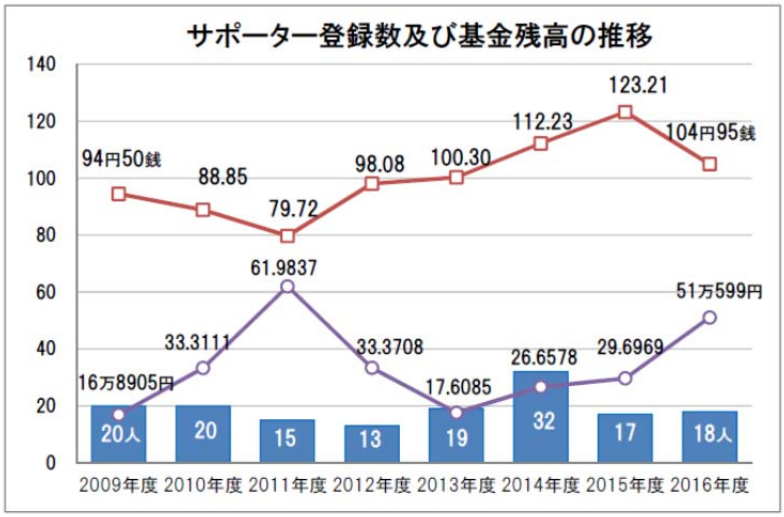
①２０１６年9月入学、２０１９年夏卒業予定の「第８期奨学生」（２０名）を支援する「第８期サポーター」の応募は１８名でした。不足の２名分は「奨学支援基金」から充当し、「第１１次ベトナム平和友好訪問団」が１０月２６日の「奨学金授与式」で奨学生に直接手渡しました。

②２００９年の「第１期奨学生」から本年度入学の「第８期奨学生」まで、延べ１６０名に、総額５万７，６００$（７００万円余）の奨学支援を行いました。第１期～第５期までの１００名が優秀な成績で卒業し、大学４５名、専門学校５５名と１００名全員が進学しています。

③この間のサポーター登録数、為替レート、基金残高の推移は下表の通りです。

・毎年、入学する２０名の新たな奨学生を支援するサポーター募集を行っていますが、定数を充足したのは４回のみです。円安傾向も「奨学支援基金」に影響しています。

・サポーターのやむを得ない事情から中途辞退者が生じ、基金からの拠出も増えています。今年度は、未納対策に力を入れた結果、基金残高を増やすことができました。



・こうしたことから、この間、サポーター登録を充足させるとともに、安定的な「奨学支援基金」のための検討を進めてきました。基本的には「サポーター登録協力者（個人・事業所）の開拓」にかかっていますが、数年来検討してきた「古本募金」を５月から開始しました。総会以降、本格的に取り組むこととします。詳細は「２０１７年度活動計画（案）」で提案いたします。

(2)各期奨学生の出身民族、サポーター登録状況

期	入学／卒業年	奨学生 人数	男性	女性	ﾊﾞﾝｷｭｳ族	ﾊﾟｺ族	ｷﾝ族	ﾀｵｲ族	サポーター 人数	男性	女性	居住市町
第1期	２００９年 ２０１２年	２０	１１	９	１８	２			２０	１６	４	東広島(15)、広島(1)、呉(1) 三原(1)、福山(1)、庄原(1)
第2期	２０１０年 ２０１３年	２０	９	１１	１１	６	３		２０	１４	６	東広島(7)、広島(5)、廿日市(1)、呉(3) 大崎上島(2)、尾道(1)、府中(1)、庄原(1)
第3期	２０１１年 ２０１４年	２０	９	１１	１７	３			１５	９	６	東広島(5)、広島(2)、竹原(1)、大崎上島(2)、尾道(1) 福山(3)、三次(1)　※HVPF奨学基金(5)　※辞退1名
第4期	２０１２年 ２０１５年	２０	６	１４	１９	１			１３	１０	３	東広島(8)、広島(3)、福山(1)、呉(1) ※HVPF奨学基金(7)　※辞退1名
第5期	２０１３年 ２０１６年	２０	８	１２	１８	１	１		１９	１３	６	東広島(9)、広島(3)、竹原(1)、庄原(1)、尾道(1)、呉(1) 廿日市(2)、海田(1)　※HVPF奨学基金(1)　※辞退1名
第6期	２０１４年 ２０１７年	２０	６	１４	１３	６	１		３２	９	２３	東広島（４）、広島（１８）、竹原（１）、呉（４） 福山（２）、庄原（２）、大崎上島（１）※辞退３名
第7期	２０１５年 ２０１８年	２０	６	１４	１９	１			１６	１２	４	東広島(10)、三原(1)、尾道(2)、庄原(1)、広島(1) 竹原(1)　※HVPF奨学基金(4)
第8期	２０１６年 ２０１９年	２０	３	１７	１８	１		１	１８	１５	３	東広島（１２）、広島（２）、庄原（１）、呉（２） 尾道（1）　※ＨＶＰＦ奨学基金（２）
合計		160	(58)	(102)	(132)	(21)	(5)	(1)	153	98	55	東広島(70)、広島(35)、福山(7)、庄原(7)、三次(1) 廿日市(3)、呉(12)、竹原(3)、大崎(5)、尾道(6)、海田(1) 府中(1)、三原(2)　※HVPF奨学基金(19)

①２００９年から今年度までに１６０名の子どもたちを支援しました。内訳は上表の通りですが、バンキュウ族、パコ族、キン族に加え今年度初めてラオス国境に住むタオイ族の奨学生一人を迎えました。（「ＨＶＰＦ奨学金サポーターだより」No.9 を参照ください）

②奨学支援をしてくださったサポーターは、東広島市７０名、広島市３５名、呉市１２名、福山市と庄原市が各７名、大崎上島町５名、尾道市６名、廿日市市と竹原市が各３名、三原市２名、府中市と海田町が各１名の１５３名です。

4. 第9回「テトを祝う会」

(1)過去最高の213人が集う

過去最最高の２１３人の皆さんに市内外から集っていただきました。

◇日本人　５８人

ご来賓　藏田義雄東広島市長
津森毅東広島市教育長
高橋幸夫選挙管理委員長
久保田トミ子広島国際大学副学長
西本博之広島県議会議員
石原賢治東広島市議会議員
大谷忠幸東広島市議会議員
中川修東広島市議会議員

◇ベトナム人　１５５人

・留学生　６３人（家族含む）

・技能実習生　９２人
澤井製作所、ケーシーエル
ダイワテクノ、広島ものつくり協同組合、ときわ台
せいわ、中国木材など

(2)みんなでつくる多彩な企画

①コンセプトの設定から企画・準備・運営まで、ベトナム人留学生や市民、学生ボランティアの皆さんに担っていただき、多彩で楽しいイベントとすることができました。

②初体験に感動！　日本＆ベトナム伝統文化体験交流

◇お正月の食べ物（ベトナム料理、バンテト作り、餅つき中止）

◇民族衣装の試着（和服、アオザイ）

・和服の試着は大好評！早速、Line やメールで友人や家族に送信

◇伝統文化・芸能（琴、篠笛）

・初めて琴に触れたベトナム女性が午後の「テトを祝う会」では先生と「桜」を演奏。

◇折り紙

・ハーレー静代さんとサポートくださった方々のまわりにできた人垣は、言葉による会話ならぬ「折紙会話」が咲いていました。

(3)「テトを祝う会」の軌跡

回	開催年月日	ベトナム人	日本人	合計	会場
第1回	2009年1月25日	19名	22名	41名	ホテル賀茂
第2回	2010年2月14日	38名	44名	82名	みずとり集会所
第3回	2011年2月 6日	29名	64名	93名	御薗宇公民館
第4回	2012年1月22日	50名	94名	144名	みずとり集会所
第5回	2013年2月10日	44名	59名	103名	中央生涯学習センター
第6回	2014年2月 2日	71名	66名	137名	中央生涯学習センター
第7回	2015年2月15日	87名	61名	148名	御薗宇地域センター
第8回	2016年2月 7日	151名	41名	195名	御薗宇地域センター
第9回	2017年1月29日	155名	58名	213名	御薗宇地域センター

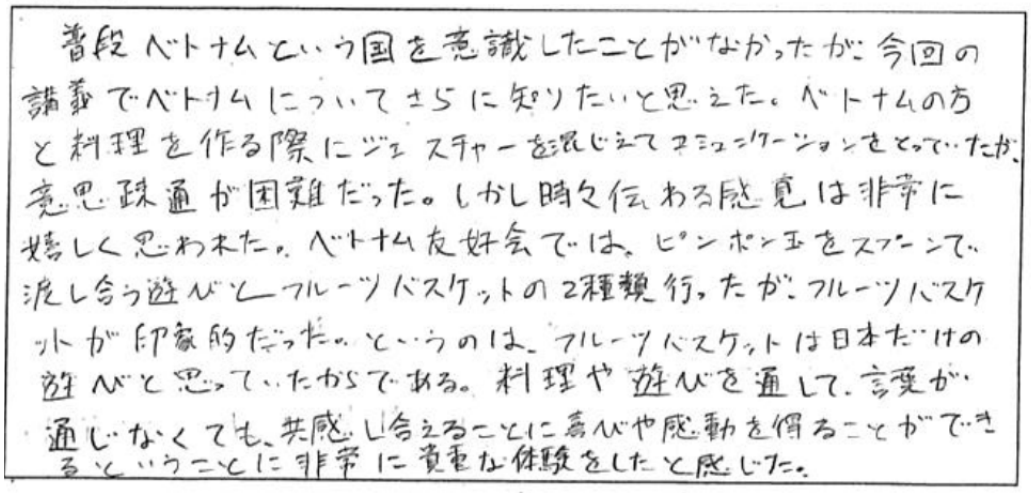
5. その他の交流活動 ～ひと・まち発見講座～

(1)東広島市生涯学習システムモデルプログラム「ひと・まち発見講座」

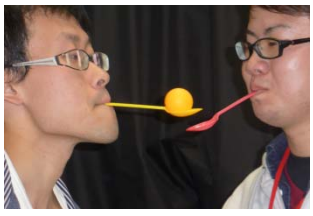
①今年４回目を数える「東広島市生涯学習システムモデルプログラム　ひと・まち発見講座」２０１６年１１月２６日（土）、黒瀬健康福祉センターおよび広島国際大学で開催しました。参加者数は広島国際大学４２名、市民３名、ベトナム留学生１２名、市教育委３名、ＨＶＰＦ５名の６２名でした。

②内容は、１）世界の食文化を通じて異文化を体験することを目的とした第１講座、「“つくってヴィヴェ”“味わってンゴン”ベト味講座」、２）ＨＶＰＦ活動の紹介と日本とベトナムとの関わりなど相互理解を深める講座、３）ベトナム留学生や国際大学生の企画による「エンジョイ・カルチャー・タイム」でした。

③たくさんの感想の中から、広島国際大学の学生さんの感想を紹介します。意義深い講座、学生や市民が異文化と触れる交流の機会づくりは大切です。



普段ベトナムという国を意識したことがなかったが今回の講義でベトナムについてさらに知りたいと思えた。ベトナムの方と料理を作る際にジェスチャーを混じえてコミュニケーションをとっていたが意思疎通が困難だった。しかし時々伝わる感覚は非常に嬉しく思われた。ベトナム友好会では、ピンポン玉をスプーンで流し合う遊びとフルーツバスケットの2種類行ったがフルーツバスケットが印象的だった。というのは、フルーツバスケットは日本だけの遊びと思っていたからである。料理や遊びを通して、言葉が通じなくても、共感し合えることに喜びや感動を得ることができるということに非常に貴重な体験をしたと感じた。



６.会員の拡大および運営などの組織活動

（1）下川聖二名誉顧問、讃岐照夫名誉会長、竹林英司会員がご逝去

①２０１６年6月８日、名誉顧問の下川聖二東広島市教育長が急逝されました。下川聖二教育長には２０１４年７月の名誉顧問ご就任以降、「総会」や「テトを祝う会」をはじめ諸行事にご参加いただき、ご指導をいただきました。あらためて、教育行政をはじめ数々のご功績とＨＶＰＦに対するご指導に感謝を申し上げ、ご冥福をお祈りします。

②２０１６年7月７日、名誉会長の元東広島市長の讃岐照夫様がご逝去されました。広島ベトナム平和友好協会（ＨＶＰＦ）設立前の２００１年から枯葉剤被害児救援チャリティーコンサート実行委員会名誉顧問としてご指導いただき、２００９年6月の「ＨＶＰＦ設立」以降は名誉会長として、今日の広島ベトナム平和友好協会（ＨＶＰＦ）の礎を築いていただきました。あらためて、心からご冥福をお祈りしますとともに、ご遺志を継ぎベトナムとの二国間交流はもとより国際交流活動の推進に邁進することをお誓い申し上げます。

③２０１７年１月３日、会員の竹林瑛次様がご逝去されました。竹林さんは２０１２年９月４日の加入以来、「テトを祝う会」をはじめ諸活動に積極的にご参加いただき、健康増進に関する分野でベトナムとの交流を進められていました。心からご冥福をお祈りします。

（2）新たに1団体・10名の加入

①個人会員　　１０名のご入会、ご逝去３名、５名が退会され、現在６５名です。

②法人会員　　（株）コーポレーションシブバールスターにご入会いただき、現在１３法人です。

③会員の推移

	2009 年 6月	2010 年 5月	2011 年 5月	2012 年 5月	2013 年 5月	2014 年7月	2015 年 7月	2016 年 6月	2017 年 5月
個　人	32名	41名	45名	54名	59名	59名	55名	60名	65名
法　人	3団体	4団体	5団体	6団体	6団体	9団体	11 団体	12 団体	13 団体

（3）懸案のホームページを開設　（https://www.hvpf.info/hvpf）

①懸案だったホームページを８月末に開設しました。トップページの〔ＨＶＰＦとは〕〔組織・活動経過〕〔イベント情報〕〔テトを祝う会〕〔奨学支援活動〕〔お問い合せ〕の各バーナーを通して来訪者も増え、諸イベントへの参加ツールにもなっています。

（Ｈｐのトップページ。HVPF と検索ください）

②しかし、まだまだＨＰの広報が不足しています。会員のチャンネルを通して拡大をお願いします。

③まもなく「開設一周年」を迎えるのを機にバージョンアップと広報編集体制の充実を図ります。

（4）機関誌『ホアビン』の発行

①今年度は、「Ｖｏｌ.１１」（６面）を発行しました。

・巻頭言：津森毅東広島市教育長

・寄稿文：初めて訪れたベトナムに魅了されて（東広島市宇山地区地域おこし協力隊・管真一さん）

ボランティアで広がる人とのつながり（市民ボランティア・横山茂樹さん）

・２０１６年の活動を振り返って

・第9回「テトを祝う会」案内、「ＨＶＰＦ設立１０周年」記念運動、編集後記

②バックナンバー

・創刊号（４面）　２００９年１０月１日

河内会長、（株）サタケの寄稿文、ＨＶＰＦ紹介、奨学金支援活動サポーター募集、ベトナム豆辞典、編集後記

・Vol. ２（２面）　２００９年１０月１３日　　特集「ケッツナー台風被災救援活動」

・Vol. ３（４面）　２０１０年　１月２０日

藏田市長、（株）ケーシーエル、第１期奨学支援活動の報告

台風被災者救援物資お礼、「テトを祝う会」案内、ベトナム豆辞典

・Vol. ４（２面）　２０１０年6月２１日

奨学支援活動　第２期サポーター募集、医療器具支援活動始め

第２次ベトナム平和友好訪問団募集、ベトナムミニ情報

・Vol. ５（４面）　２０１１年1月１日

浅原広大学長、第２次ベトナム平和友好訪問団報告、(株)美建工業

３年目に入った奨学支援、第３回「テトを祝う会」案内、ベトナム豆辞典

・Vol. ６（２面）　２０１１年8月１日

「第３回総会」報告、第３期サポーター募集、第３次訪問団募集

・Vol. ７（４面）　２０１２年1月１日

木村教育長、第３次ベトナム訪問団報告、中島はるみ会員の寄稿

西条中学校＆タンコー中学校「姉妹校提携協定」、第４回「テトを祝う会」案内、ＨＶＰＦ設立５周年記念運動、入会のお願い、編集後記

・Vol. ８（４面）　２０１３年1月

秋山広島国際大学学長、井原修副会長、「設立５周年記念」を振り返って、「第５回テトを祝う会」案内、「第５期奨学生」サポーター募集、編集後記

・Vol. ９（８面）　２０１４年1月

山崎正数東広島地区医師会長、「日越国交樹立４０周年」を振り返って「第６期サポーター」募集、ひと・まち発見講座、６回「テトを祝う会」案内、ベトナム豆辞典、編集後記

・Vol. １０（6面）２０１６年1月

河内昌彦会長、前垣壽男賀茂泉酒造代表取締役社長の寄稿、2015 年の活動を振返って、第８回テトを祝う会案内、第８期サポーター募集、編集後記

(5)「東広島市市民活動情報サイト」

２０１１年度に、東広島市が市民協働のまちづくりに向けて、さまざまな市民の活動情報が集まり、「市民と市民」、「市民と行政」のつながりを育むために開設した「市民活動情報サイト」に登録しました。しかし、その後、活用できておらず、情報発信のツールとして有効活用を図ります。

(6)「ひろしま国際交流サミット」、「東広島市国際化推進協議会」

①広島大学大学院国際協力研究科のPham Thi Ha（ファン ティ ハ）さん（女性）を「平成２８年度奨学生」として推薦し、２０１６年8月４日に「奨学生決定通知書授与式」が行われました。毎月２万円の奨学金を受け一年間勉学に励んだ「報告会」が、３月２４日に市役所で開催され山田理事が同伴しました。

②２０１３年のファン・バン・ソンさんに続き２人目ですが、今後ともこうした制度を紹介しながら留学生支援の輪を広げてゆく必要があります。

③ひろしま国際交流サミット地域分科会や東広島市国際化推進協議会総会などに参加し、他団体との活動交流や情報交換を深めています。今後とも様々な面において連携・交流を活発化させ、国際交流活動推進とＨＶＰＦの活動強化に努力します。

(7)理事会

①第３１回理事会　２０１６年8月２６日（金）　東広島市市民協働センター

◇報告事項（‘２０１６「“ベトナムがく”しみん講座」（第１講座)、ベトナム大使館表敬、第１回「サポーター会議」、東広島市国際化推進協議会「私費留学生奨学金」申請・決定、ホームページ開設準備状況、その他）

◇協議事項

・「ＨＶＰＦ設立１０周年記念」に向けて
・‘２０１６「“ベトナムがく”しみん講座」（第２講座）について
・「ドクさん来訪！　トーク＆コンサートｉｎ　東広島」について
・ＨＶＰＦ教育支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 奨学支援活動「第８期サポーター」募集
・「第１１次ベトナム平和友好訪問団」について
・第9回「テトを祝う会」について
・「ひと・まち発見講座」について
・「“ベトナムがく”しみん講座」（第４講座）について
・その他

②第３２回理事会　２０１６年１２月２１日（水）　白竜湖

◇報告事項（「ドクさん来訪　トーク＆コンサート in 東広島」、第１１次ベトナム平和友好訪問、‘２０１６「ひと・まち発見講座」、“ベトナムがく”しみん講座（ベト味講座）」、その他

◇協議事項

・第９回「テトを祝う会」、“ベトナムがく”しみん講座」（第５講座）
・「ＨＶＰＦ設立１０周年記年運動」
・（公財）三井住友海上文化財団　平成２９年度「文化の国際交流活動に対する助成」
・『ホアビン』Ｖｏｌ．１１について
・その他

◇「情報交換会」

③第３３回理事会　２０１７年3月１７日（金）　東広島市芸術文化ホール「くらら」

◇報告事項　（第９回「テトを祝う会」、その他）

◇協議事項

・「ＨＶＰＦ設立１０周年記念事業について
・組織改革について
・第９回総会について
・２０１７年度諸活動計画の骨子について
・“ベトナムがく”しみん講座（第５講座）について

④第３４回理事会　２０１７年6月１日（木）　東広島市市民協働センター

◇報告事項（“ベトナムがく”しみん講座（第５講座)、その他）

◇協議事項

・第９回定期総会について
・各会計決算状況および２０１７年度予算（案）について
・２０１７年“ベトナムがく”しみん講座について
・奨学支援活動「第９期サポーター」募集について
・「ＨＶＰＦ設立１０周年記念運動」について
・その他

（8)主な活動記録（2016年6月19日「第8回総会」以降　～　2017年6月17日）

２０１６年　7月　９日（土）　讃岐照夫名誉会長（元東広島市長）葬儀
7月２９日（金）　ベトナム大使館表敬、グエン・クオック・クオン特命全権大使およびグエン・チュオン・ソン公使と会談（井原、赤木）
7月３０日（金）　第１回「サポーター会議」
8月　４日（木）　「奨学生決定通知書授与式」（山田）
8月２６日（金）　第３１回理事会
8月２８日（金）　ホームページ開設打ち合わせ（赤木、山田）
9月　５日（月）　第２回「サポート会議」（「テトを祝う会」第１回企画準備委員会）
9月１８日（日）　２０１６年度“ベトナムがく”しみん講座（第２講座）
１０月１１日（火）　第３回「サポーター会議」（「テトを祝う会」第２回企画準備委員会）
１０月１２日（水）　市教委・国際大学と「ひと・まち発見講座」打合せ（赤木、ドゥク）

１０月１９日（水）　関西空港へドクさん出迎え（赤木）
１０月２０日（木）　ドクさん原爆慰霊碑献花、資料館見学、記者会見、役員と会食
１０月２１日（金）　ドクさん来訪トーク＆コンサートｉｎ東広島（しみん講座第３講座）
１０月２２日（土）　ドクさん市内で買い物、関西空港へ送り（赤木）
１０月２３日（日）　ドクさんホーチミン便で帰国（赤木）
１０月２３日（日）　～３０日、第１１次ベトナム平和友好訪問団（友保、赤木、久保、山田、赤木ﾏ）
１１月１８日（金）　第４回「サポーター会議」（「テトを祝う会」第３回企画準備委員会）
１１月２６日（土）　「ひと・まち発見講座」
１１月２８日（月）　「テトを祝う会」企画でハーレー静代さんに「折り紙講座」要請
１１月２９日（金）　広島アセアン協会「二国間交流団体親睦会」（赤木）
１２月１２日（月）　「ＨＶＰＦ設立１０周年記念運動」第１回プロジェクト会議
１２月１８日（日）　２０１６年度“ベトナムがく”しみん講座（第４講座）
１２月２１日（木）　第３２回理事会
１２月２６日（月）　『ホアビン』（Vol.11）発送作業

２０１７年
１月１１日（月）　第４回サポーター会議」（「テトを祝う会」第４回企画準備委員会）
１月２３日（月）　第５回『サポーター会議』（「テトを祝う会」第５回企画準備委員会）
１月２８日（土）　第９回「テトを祝う会」準備
１月２９日（日）　第９回「テトを祝う会」
２月２４日（金）　第６回「サポーター会議」（「テトを祝う会」第６回企画準備委員会）
３月１０日（金）　「ＨＶＰＦ設立１０周年記念運動」第２回プロジェクト会議
３月１７日（金）　第３３回理事会
３月２７日（月）　広島国際大学「アジア介護・福祉教育研修センター」開所記念式典（河内、井原、高橋、赤木）
４月　７日（金）　みんなで創り交流する♪オルゴールシアター「広島とベトナムの民話」プロジェクト「民話選定」会議
４月１０日（月）　広島ベトナム協会および県総務課（井原、友保、高橋、赤木）
広島アセアン協会第４回総会＆懇親会（河内、井原、友保、高橋、赤木）
５月２４日（水）　２０１６年度一般会計監査、奨学支援基金会計監査（赤木、高田監査）
５日２５日（水）　２０１６年度一般会計監査、奨学支援基金会計監査（赤木、尾畑監査）
５月２７日（土）　２０１７年度ＪＶＰＦ総会、ソン公使、ハイチュウと打合せ（赤木）
６月　１日（木）　第３４回理事会
６月１２日（月）　「ベト味教室」

会計監査報告

広島ベトナム平和友好協会（ＨＶＰＦ）

会長　河内昌彦　様

去る５月２４日、および５月２５日の両日、広島ベトナム平和友好協会「２０１６年度一般会計」および「２０１６年度奨学支援基金会計」について監査を実施いたしました。

監査において出納簿、領収書、預金通帳など関係諸表を精査した結果、適切かつ正確に処理されていました。

ここに、ご報告申し上げます。

２０１７年5月25日

広島ベトナム平和友好協会（ＨＶＰＦ）

監　事　　尾　畑　裕　一

〃　　高　田　信　江

2017年度　活動計画（案）

1. 2017年度 活動計画の基本

（1）「HVPF設立10周年記念運動」

①８年の前史および設立以降の１０年の取り組みを通して培われた作風、運動と組織を継承し、「新たなステップに臨む飛躍期」のスタートとするための「ＨＶＰＦ設立１０周年記念運動」を柱に取り組みを進めます。

②広島ベトナム平和友好協会（ＨＶＰＦ）が培ってきた作風、継承すべき運動と組織の特徴の第一は、広島とベトナムの類似性・共通性に立っていることです。

１）広島は人類史上唯一の核兵器による被害を受けた被爆地であり、ベトナムは猛毒ダイオキシンを含んだ枯葉剤爆弾という化学兵器の被害を受けた国です。

２）広島とベトナム、ともに「戦争の世紀」２０世紀を象徴する戦争被害を体験し、「核兵器も化学兵器もない平和で豊かな世界を築く」という共通の願いを持っています。

３）ベトナムとの交流を進める「会」の設立にあたって、上記の思いを込め、二国間交流団体としては異例ともいえる「平和友好協会」と名付けられました。それは何よりも「人間の生命の尊さ」に立脚し、「世界平和の構築につながる交流」をとの思いが込められたからです。

③第二は、平和・いのち・教育を基底においた交流です。

１）ＨＶＰＦ設立前を含め重ねてきた交流の柱は、枯葉剤被害児者救援活動などを通した「平和」、少数民族村への医療器具支援などを通した「いのち」、少数民族の子どもたちへの奨学支援など「教育」です。これらを通して、「平和」「いのち」が大切にされる世界を希求し、創造する人を育てることを基底に進めてきました。

２）各交流事業の企画においては「相互理解」を深めることを何よりも大切にし、その前提条件となる「出会いの機会」づくりと「知る場・知り合う場」づくりを心がけてきました。

④第三は、フレンドリーでアットホームな「手づくり交流」です。

１）会員だけでなく学生や市民、留学生などの企画・準備・運営・総括まで全過程での参画、諸市民団体との共催事業など、市民・諸団体との協働・連携を追求してきました。

２）こうした作風により、フレンドリーでアットホームな「手づくり交流」として定着し広がってきました。

「ＨＶＰＦ設立１０周年記念運動」を通して、これらの作風をしっかりと継承し、「新たなステップに臨む飛躍期」に挑みましょう。

（2）一般社団法人化に向けて

ＨＶＰＦの持続的な活動（永続化）を図り、「運動と組織を継承し、新たなステップに臨む飛躍期」とするため、ＮＰＯ法人化、一般社団法人化など組織改革の検討を半年余り重ねてきました。本総会で一般社団法人化を確認し、来年の「第１０回総会」での移行を準備することとします。

2.“ベトナムがく”しみん講座

(1)ライブラリーで組む講座

３年目を迎える本年度は、「ＨＶＰＦ設立１０周年記念運動」などもあり３講座とします。内容はベトナム人監督の作品やベトナムの歴史や風土・民俗に触れることのできる映画鑑賞とデスカッションとします。

講座	開催日時	会場	テーマ	講師・内容	定員
第1回	6月18日（日） 13:00～15:30	東広島芸術文化ホール「くらら」 208号室	「トアとトゥオン　ベトナム戦争の子ども達」 鈴木伊織監督トーク	トーク＆上映 「第58回科学技術映像祭」（2017 年 3 月）、「部門優秀賞」受賞。	50名
第2回	9月10日（日） 13:00～15:30	東広島市総合福祉センター　3階 大ホール（予定）	「青いパパイヤの香り」 1993年、トラン・アン・ユン監督のデビュー作品	ヴェネツィア国際映画祭グランプリ受賞、カンヌ国際映画祭で新人監督賞受賞。	100名
第3回	12月10日（日） 13:00～15:30	「くらら」大会議室 （303号室）予定	「ベトナムの風に吹かれて」 2015年、日越合作映画 大森一樹監督	ベトナムで日本語教師の日本人女性が認知の母と生きる。松坂慶子、奥田瑛二･･･	100名

(2)「ベト味講座」

昨年、一昨年と大好評だった「ベト味（ベトナム料理）講座」。今年度は「ベト味教室」として、定員２５名，受講料１，５００円の教室を年間４回開きます。講師は「カンボジア＆ベトナム料理専門店アプサラス」の張富裕子さんです。

	開講日時	会場	メニュー
第１	2017年　6月12日（月） 9:30～13:00	東広島芸術文化ホール 「くらら」調理実習室 （206号室）	①春雨スープ（鶏ガラ、豚肉ミンチ、エビ、ネギ）、②肉の煮つけ（豚肉の片ロース、玉子、米１kg）、③さつま芋のデザート、調味料（塩、 味の素、ナンプラ、砂糖）
第2	2017年　9月11日（月） 9:30～13:00	東広島芸術文化ホール 「くらら」調理実習室	旬の食材を生かしたメニューにします。
第3	2017年　12月11日（月） 9:30～13:00	東広島芸術文化ホール 「くらら」調理実習室	旬の食材を生かしたメニューにします。
第4	2018年　3月12日（月） 9:30～13:00	東広島芸術文化ホール 「くらら」調理実習室	旬の食材を生かしたメニューにします。

3. 教育支援プログラム「高校生奨学金10USﾄﾞﾙ」支援活動

(1)奨学支援活動の安定的継続に向けて

古本募金きしゃぽん／嵯峨野株式会社との「エージェント契約」に基づき開始した「古本募金」の取り組みを本格的に進めます。

(2)企業・団体などへの支援要請

①個人サポーターの募集とともに、国際交流活動を展開している団体や企業・事業所に、「教育支援プログラム」（「高校生奨学金 10usﾄﾞﾙ」支援）に対し「継続的な奨学支援」を要請します。「総会」後、支援要請先をリストアップし取り組みを開始します。

②基金の安定化を図り「教育支援プログラム」の充実を追求することとします。

(3)第9期奨学支援サポーター募集

①募集人数　２０名

②募集期間　２０１７年6月～8月末まで

③奨学縁組　「奨学生情報」を可能な限り早く送付するようクアンチ省政府に要請し、各サポーターへの送付を早める努力を行います。

(4)「奨学金授与式」

今秋１０月中下旬に予定している「第１２次平和友好訪問団」の派遣にあわせて実施します。

4. 相互理解と友好連帯を深めるプログラム

(1)みんなで創り交流する♪オルゴールシアター「広島とベトナムの民話」プロジェクト

①内容及び目的

◇「ＨＶＰＦ設立１０周年記念」事業の一環として、遠い昔から人びとが語り継ぎ、愛し親しんできた東広島の民話とベトナムの民話を選定し、民話に合わせたオリジナルの手回しオルゴール曲の音色と背景画をバックに臨場感あふれる物語を展開できるミュージカル民話劇ＤＶＤを創作。

◇教育関係者や郷土史研究団体にも参画いただき「郷土理解と国際理解の一助として活用」できる作品として9月中旬を目途に創作を進めています。

◇１０月の「第１１次ベトナム平和友好訪問」に際しベトナムで上映・演奏し、相互理解と文化交流を図るとともに、東広島市内外に広めます。

②選定した民話

◇「忘れ茗荷」＝「茗荷の宿」（「四日市の五次郎宿屋」）を題材に、脚本家の林昭弘さん作

◇「野呂山キツネの恩返し」（黒瀬町）

◇ベトナムの民話　＝「ふしぎな胡弓」（長い間、外国の支配を受けていたベトナムの人びとの平和を願う心が込められた民話）を題材にオリジナルな脚本を作成。

③背景曲

◇「忘れ茗荷」＝オルゴール作曲家の山田千秋さんに依頼

◇「ふしぎな胡弓」＝「母の日記（ﾊｲﾁｭｳ）」、「故郷（ﾊｲﾁｭｳ）」、「BON PHUONG TROI」

（2）「第12次ベトナム平和友好訪問団」派遣

①時　期　１０月９日（月・祝）～１５日（日）　※７日間（前泊１日，機中泊１日）

②訪問団　６名

④費　用　２３万円程度（国内費用、渡航費、滞在費、団費含む）

⑤募　集　～７月末

⑥目　的　１）「文化の国際交流活動に対する助成」事業

◇助成団体　公益財団法人三井住友海上文化財団

◇助成金額　５０万円（日程など確定後財団に交付申請、９月交付）

◇対象事業　みんなで創り交流する♪オルゴールシアター「広島とベトナムの民話」プロジェクト（ベトナムでの演奏・交流、派遣６名）

◇交流内容　・クアンチ省少数民族寄宿高等学校＝「民話劇」上映、ｵﾙｺﾞｰﾙ演奏

・クアンチ省立タンコー中学校＝「民話劇」上映、ｵﾙｺﾞｰﾙ演奏

・ツヅー病院「平和村」＝「民話劇」上映、ｵﾙｺﾞｰﾙ演奏

・ホーチミン国家大学人文社会科学大学・日本語学部

＝「民話劇」上映、ｵﾙｺﾞｰﾙ演奏

２）クアンチ省少数民族寄宿高等学校「奨学金授与式」、奨学支援について協議

３）クアンチ省政府との協議（ＨＶＰＦ設立 10 周年記念式典、省知事広島訪問など）

４）フエ医科薬科大学（Dr.Nhan）

５）国際株式会社 COCORO（日越国交樹立４５周年記念訪問、他）

６）ベトナムの歴史と文化に触れるスタディー（ﾎｰﾁﾐﾝ、ﾀｲﾆﾝ、ﾆｬﾁｬﾝ、ﾀﾞﾗｯﾄから選択）

（2）少数民族村への「医療器具支援」活動

東広島地区医師会にストックしていただいている資材および５組の「血圧計セット」を贈ります。

（3）東広島市生涯学習システムモデルプログラム「ひとまち・発見講座」

①日時　２０１７年１１月　　日（土）午前９時４０分から午後４時１０分

②会場　黒瀬生涯学習センター

③内容　第１部　ベトナムを味わう

第Ⅱ部　“ベトナムがく”and エンジョイ交流

※詳細な企画については市教育委員会生涯学習課、広島国際大学、ベトナム留学生と協議することとします。

（4）第10回「テトを祝う会」

※来春、２０１８年の「テト」は2月１６日（木）に当たります。

①**日時**　２０１８年2月１２日（月曜日）

②会場　東広島市総合福祉センター３階大ホール

③企画　１）ベトナム留学生・お 市民・学生などＨＶＰＦサポート会議の皆さんを交えた企画準備委員会を「第９回総会」以降、７月に起ち上げることとします。

２）諸活動にご協力、連携いただいている友誼団体に参画していただくとともに、企画準備委員を公募し裾野の広い取り組みとします。

３）奨学支援をしているクアンチ省少数民族寄宿高等学校や西条中学校の姉妹提携校であるタンコー中学校とのネット中継など、「１０周年記念」にふさわしい企画を取り入れます。

（5）留学生・技能研修生との交流および支援活動について

①事業の目的

１）留学生・研修生との交流を通しベトナムについての理解を深める。

２）留学生・研修生に伝統文化や歴史に触れる機会を提供することにより東広島（日本）に対する理解を深めていただく。

３）学業、研修・就労、子育て・教育など、日常生活での可能な支援および問題解決のためのサポートを行う。

４）これらを通してお互いの国際人力を高め合う。

②事業内容

１）年１回、「留学生との交流会」を開催します。開催時期や持ち方などについては留学生と協議進めます。※１０～１１月

２）技能研修生を受け入れている「事業所への聴き取り」を行い「事業所交流会」や「研修生との交流会」の開催を追求します。

5. 会員の拡大および運営

（1）会員拡大および組織基盤の強化

この一年間、「ＨＶＰＦ設立１０周年記念運動」を通した会員拡大を強力に取り組み、少なくとも「個人会員１００名・法人会員２０社」体制を確立し、一般社団法人への移行を目指します。

（2）「HVPFサポート会議」

①ＨＶＰＦの諸活動やイベントにボランティア・スタッフとして加わってくださっている方々をと企画・準備・総括などについて話し合う「ＨＶＰＦサポート会議」の充実を図ります。

②ベトナム留学生や技能実習生がより参画できる体制を検討するとともに、「ベトナム語翻訳スタッフ」の登録とネットワーク化を進めます。

(3)情報発信について

①ホームページのミニ・リニューアル　　(https://www.hvpf.info/hvpf)

1）懸案のホームページを開設し８月末で１年を迎えます。まだまだ認知度が低いのが現状ですが訪問者は次第に増えつつあります。一周年を迎えるにあたり、《入り易く、分かり易く、親しみ易く、参加し易い》Ｈｐを目指しミニ・リニューアルを進めます。

2）認知度をアップし、訪問者を増やすこと、新情報など更新頻度の改善が課題ですが、当面、先ず認知度アップを図るために、会員の皆さんのチャンネルを通しての広報、よろしくお願いします。

②「東広島市市民活動情報サイト」の積極的な活用

東広島市が市民協働のまちづくりに向けて、さまざまな市民の活動情報が集まり、「市民と市民」、「市民と行政」のつながりを育むために開設した「市民活動情報サイト」に登録しましたが、活用できていません。今後、情報発信のツールとして有効活用を図ります。

③『ホアビン』発行

・Ｖｏｌ．１２　　２０１８年1月（新年号）

(4)理事会の設定

①第３５回理事会　２０１７年　８月２５日（金曜日）１７時から、東広島市地域協働センター
②第３６回理事会　　１２月　１日（金曜日）１７時から
③第３７回理事会　２０１８年　２月　　日（　曜日）１７時から
④第３８回理事会　　５月　　日（　曜日）１７時から

2017年度役員（案）

名誉顧問　藏田　義雄（東広島市長）
〃　津森　　毅（東広島市教育長）
〃　越智　光夫（広島大学学長）
〃　焼廣　益秀（広島国際大学学長）
〃　野村　正人（近畿大学工学部工学部長）
〃　木原　和由（東広島商工会議所会頭）
〃　南部　　滋（東広島地区医師会会長）
名誉会長　　（　　）
会　　長　河内　昌彦（広島県リハビリテーション協会会長、ときわ台ホーム施設長）
副 会 長　井原　　修（広島県議会議員）
〃　友保　義正（株式会社サタケ　執行役員・国際事業本部部長）
〃　髙橋　幸夫（東広島市選挙管理委員会委員長）
専務理事　赤木　達男（東広島市議会議員、日本ベトナム平和友好連絡会議副会長）
理　　事　石原　賢治（東広島市議会議員）
〃　﨑島　壽則（株式会社　ケーシーエル・代表取締役）
〃　久保　　薫（農業法人役員）
〃　住田　徳也（中国産業株式会社・営業課長）
〃　正原　耕治（正電産業株式会社・代表取締役）
〃　萬行　　勲（前東広島地区医師会事務局長）
〃　高山　弘子（有限会社高山ペットショップ・代表取締役）
〃　南山　　求（広島国際大学・地域連携センター長、総合リハビリテーション学部教授）　**新**
〃　上向　　隆（公益法人　東広島市観光協会・専務理事）
〃　西村　克也（東広島市・政策企画部長）
〃　山田　　学（株式会社ＤＥＬＴＡ代表取締役）
〃　兼森　　裕（広島県企業局・経営部長、株式会社水みらい広島・取締役）　**新**
〃　右田　悦雄（達磨オルゴールミュージック株式会社・代表取締役）　**新**
〃　吉田　　繁（人権擁護委員）　**新**
〃　大丸　昭弘（ひろしま国際交流センター次長兼研修課長）　**新**

監　　事　尾畑　裕一（東広島市園芸センター所長）
〃　高田　信江（美建工業株式会社・取締役総務部長）
事務局長　　（　　）